

「医科歯科医療連携セミナー」について

医療の一分野である歯科医療を担うために、歯科との隣接医学である診療科を学ぶことを目的として、医科歯科医療連携セミナーを企画しております。

掌蹠膿疱症と病巣感染の関連性の重要性について ～特に歯性病巣について

掌蹠膿疱症は皮膚科領域ではありふれた炎症性の慢性疾患であるが、患者さんにとっては大変 QOL に悪影響を与える疾患である。またこれまで対症療法が主体であったため以前から長年にわたり改善や寛解に大変苦慮していたのも事実である。しかし近年本邦で初の生物学的製剤であるヒト型抗ヒト IL-23p19 モノクローナル抗体製剤が開発・承認され、現場で有効な治療選択肢の 1 つとなってきており、それに伴い病態が積極的に解明されつつある。また本疾患において以前から知られている病巣感染に対する重要性も見直されてきており、寛解状態が目指せるようになってきた。今回はその代表的病巣感染巣の 1 つであり高頻度に認められる歯性病巣に注目して dysbiosis における報告や歯科の先生からの患者の血清や唾液中のサイトカイン解析などの論文の紹介を交え、現場における当教室での診療状況を含め実際の症例を供覧する。また以前から注目されていた金属アレルギーについての現状における関連性について、そして歯性病巣の治療が皮膚症状だけでなく掌蹠膿疱症性骨関節炎に対する有効性についても追加解説する予定である。

【講師】 久留米大学医学部皮膚科学教室 教授 名嘉真 武国 先生

【略歴】

1987年 3月 久留米大学医学部医学科卒業
2013年 11月 久留米大学医療センター皮膚科教授
2015年 3月 久留米大学皮膚科学講座主任教授および診療部長
2017年 4月 久留米大学皮膚細胞研究所所長兼任

【役職（学外）】

日本皮膚科学会西部支部 支部長（令和4年4月～）
日本皮膚科学会名誉会員・功労会員推薦委員（令和4年6月～）
日本皮膚免疫アレルギー学会代議員（令和4年6月～）



【日時】 6月10日(土) 18時～20時 【定員】 40名 会員限定

【会場】 久留米リサーチ・パーク 研修室 E（久留米市百年公園 1-1）

申込 FAX: 092-473-7182 ※申込の上、当日はこの用紙を受付でご提出ください。

氏名: _____

医療機関名: _____

※講演会参加に際してのお願い

手指消毒、マスク着用をお願いします。新型コロナウイルス感染症の集団感染発生が疑われ、行政から要請があった場合は、参加者の個人情報を行行政に提供することをあらかじめご了承ください。



QRコードからも
申込可能です。